

Last week Mr Ogata, our social studies teacher, gave us homework.

He said, “You have to study about our town and make a presentation about your studies at the class next week. You can use drawings, graphs and tables.

Choose the best way to make a good presentation.”

I don't like social studies very much.

On Friday night, I was worrying about the homework.

Just then my brother Kenta asked me, “What are you worrying about?”

I explained my homework to him.

He listened to me and said, “OK. I can help you.

I like social studies the best of all subjects. Let's go to the library tomorrow.

There are many books in the library.”

We went to the library in the morning the next day. Kenta said, “You like math.

So how about checking out some figures about our town and drawing graphs of them?”

“It's a good idea! Thank you,” I said. I tried his way.

It was a little difficult but I enjoyed it.

Social studies is more interesting for me than before.

先週、私たちの社会科の先生である、おがた先生は宿題を出しました。

先生は、「みなさんは私たちの町について研究し、その研究について来週の授業で発表しなくてはなりません。図、グラフ、表を使ってもよろしい。

よい発表をするために最もよい方法を選びなさい。」と言いました。

私は、あまり社会科が好きではありません。

金曜日の夜、私は宿題で悩んでいました。

ちょうどその時、私の兄[弟]のけんたが「何に悩んでいるの？」と私にたずねました。

私は、私の宿題を彼に説明しました。

彼は私の話を聞いて、言いました。「大丈夫。ぼくが手伝ってあげるよ。

ぼくは全部の科目の中で社会科が一番好きなんだ。明日、図書館に行こうよ。

図書館にはたくさんの本があるよ。」

次の日の朝、私たちは図書館に行きました。けんたは言いました。「きみは数学が好きだね。

だから、ぼくたちの町についていくつか数字を調べて、それらのグラフをかいたらどうか？」

「それはいい案だわ！ ありがとう。」と私は言いました。私は彼の言ったようにしてみました。

それは少し難しかったですが、楽しかったです。

社会科が、私にとって前よりおもしろくなりました。

One day Haruna's father was listening to music in his room.

Haruna said to him, "Father, what music are you listening to? It's very good. I like it."

He said, "The Beatles." "The Beatles? I know them!"

Then she found something on the table.

"What's that on the table? It is like a CD, but it's black and it is **larger than** a CD."

～よりも大きい

He said, "It's a **record**. We listened to music on records about 30 years ago."

レコード

Your grandfather bought it. He liked music.

He **liked** **The Beatles the best** and he had a lot of their records.

～が最も好き

In 1966 he went to The Beatles' concert in Tokyo.

It was **one of the most important** memories for him."

～のうちの一つ

最も大切な

Haruna's grandfather died two months ago.

Haruna said, "Can I listen to those records?"

Her father said, "No, you can't. I don't have a **record player** to listen to them."

レコードプレイヤー

But you can listen to The Beatles' songs on CDs.

They are **still** very popular around the world."

今でも

Haruna said, "Really? I want to listen to their music more. It's **as good as** **J-pops**."

Jポップ

〈as ～ as...〉…と同じくらい～

Her father said **with a smile**, "I'm glad that you are interested in old music."

ほほえみながら

ある日、はるなの父親は彼の部屋で音楽を聞いていました。

はるなが父親に言いました。「お父さん、何の音楽を聞いているの？ とてもすてき。私それ好き。」

父親が「ビートルズだよ」と言いました。「ビートルズ？ 私、知ってる！」

そして、彼女はテーブルの上に何かを見つけました。

「テーブルの上のあれは何？ CDみたいで、でも黒くてCDよりも大きいね。」

父親が言いました。「それはレコードだよ。30年ほど前、ぼくらはレコードで音楽を聞いていた。

きみのおじいさんがそれを買ったんだよ。彼は音楽が好きだった。

ビートルズが一番好きで、彼らのレコードをたくさん持っていた。

1996年には、東京でのビートルズのコンサートに行ったんだ。

それが、彼にとって一番大切な思い出の一つだったんだよ。」

はるなおじいさんは2か月前に亡くなりました。

「それらのレコードを聞けるかな？」とはるなは言いました。

「いいや、できないよ。ぼくはそれらを聞くためのレコードプレイヤーを持っていないんだよ。

でも、きみはCDでビートルズの歌を聞くことができるよ。

彼らは今でも、世界中でとても人気があるんだ。」と父親が言いました。

はるなが言いました。「ほんと？ 私、もっと彼らの音楽を聞きたい。Jポップと同じくらいすてき。」

彼女の父親はほほえみながら言いました。「きみが古い音楽に興味を持ってくれてうれしいよ。」